

防災・日本再生シンポジウム

「これから必要になる 地域を守る防災リーダーの養成」



参加費無料
事前申込願います。
(当日受付も可)

開催日時／平成27年11月28日(土)
13:30～16:40(受付開始13:00)

開催場所／和歌山大学松下会館
(地域連携・生涯学習センター) 2階ホール
(和歌山市西高松1-7-20 ※和歌山県立図書館隣)
※駐車スペースが少ないため、できる限り公共交通機関をご利用ください。

[対象者] 一般市民、行政職員、教育機関関係者
[参加費] 無料(事前申込願います。(当日受付も可。))



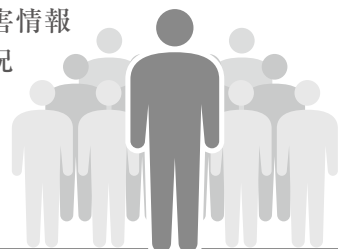
フェス7
国立大学2015

主催／国立大学法人和歌山大学 共催／一般社団法人国立大学協会
後援／和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会、社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会
高等教育機関コンソーシアム和歌山

和歌山県では近い将来に発生が予測される南海トラフの地震という差し迫ったリスクがあります。また地球温暖化などにより大型台風が発生しやすくなり、平成23年に発生した台風12号による紀伊半島大水害などが、再び繰り返されることが心配されています。和歌山大学では平成25年に「紀伊半島における防災・減災に関する和歌山大学の方針作成のための有識者会議」を設置し、平成26年1月に提言をいただき、現在まで内容を実践しています。

今回は地域の自主防災に必要な防災リーダーについて考えます。特に、既存の防災リーダーをより地域を守る実践的なリーダーとして検討し、さらに行政、住民や大学などの研究機関と連携する仕組みについても考えます。

防災・減災は自治体だけが取り組むものではありません。地域住民の参加が重要になり、どうしても足りない点は自治体などの行政に頼ることになります。そのために地域の防災リーダーが必要になります。最近の災害から検討すると防災リーダーは、地域の自主的な避難などを検討し、自治体とのコミュニケーションが重要になってきます。和歌山大学では地域向けの防災啓発プログラムを開発し、災害情報の示し方、衛星を利用した防災について研究を実施しています。このような状況のもとで、防災リーダーにはどのようなさらなるスキルが必要なのかを考えます。そのために、自治体、住民、地方気象台、大学の関係者が集まり、これから必要な防災リーダーパネルディスカッションを実施します。



プログラム	13:30～	開会挨拶 和歌山大学 学長 瀧 寛和
	13:35～	基調講演 「これからの地域防災リーダーに必要なスキル」 京都大学防災研究所 教授 牧 紀男氏
	14:15～	防災研究成果発表 江種伸之 (和歌山大学防災研究教育センター 副センター長/システム工学部 教授) 秋山演亮 (和歌山大学宇宙教育研究所 所長/教授)
	14:40～	休憩・防災研究成果のパネル展示発表
	15:05～	パネルディスカッション 「和歌山県に必要な防災・減災リーダー、コーディネーターと大学の役割 —自治体・自主防災組織・和歌山大学などの役割について—」 パネリスト 牧 紀男氏 (京都大学防災研究所 教授) 高瀬彰彦氏 (和歌山県総務部危機管理局防災企画課 課長) 三浦郁夫氏 (和歌山地方気象台 台長) 早稲田真廣氏 (日本防災士会和歌山県支部 支部長) 秋山演亮 (和歌山大学宇宙教育研究所 所長/教授) コーディネーター 此松昌彦 (和歌山大学防災研究教育センター センター長/教育学部 教授)
	16:35～	閉会挨拶 和歌山大学 理事・副学長・地域創造支援機構長 呉 海元

申込方法 下記参加申込書に記入し、FAXで送信いただくか、参加申込書と同事項をメールまたは電話でお申し込みください。

申込期限 平成27年11月24日(火)

申込先 国立大学法人和歌山大学財務課研究協力室
〒640-8510 和歌山市栄谷930 TEL 073-457-7558 FAX 073-457-7550
bousai01@center.wakayama-u.ac.jp

防災・日本再生シンポジウム 参加申込書

※必要事項をご記入の上、11月24日(火)までにFAXにて送信するか、①～⑦の内容をメール、電話にてお申し込みください。

①フリガナ		③ 電話 番号	() -
②氏 名		⑤ メール アドレス	@
④住 所	〒 -		
⑥所 属		⑦ 職名	

※このお申し込み情報は本シンポジウム開催の目的以外では使用しません。